事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 11 月　　事業所名 コペルプラス盛岡 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である		5		職員の募集をかけております。 人手不足を感じることがあり保護者さんに適切な対応ができない場合があり申し訳ございません。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		常に掃除機をかけたり除菌スプレーを使用し清潔を保っています。子供たちが興味を示すような装飾等も壁に貼り楽しい空間になるよう工夫しています。	感染対策として換気・消毒を徹底しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		職員で話し合い明確な目標を決め業務改善を図っていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		今回実施した評価表を保護者さんがいつでも見える場所に掲示したいと思います。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			障がいに関しての外部、内部研修に参加しています。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		療育中に保護者様のご意見や近況状況をお聞きしています。	フィードバック時や療育中に保護者さんに声をかけさせていただき、家庭や日頃の様子をお聞きし情報共有しながら計画書につなげています。

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			計画書作成資料や相談支援事業所さんからの資料、保護者さんの要望等に基づき計画書を作成しています。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			定期的に支援計画書を確認し職員間で共有しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			担当者（責任者）を決めており先頭に立って進めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			様々な教材を取り入れ固定化しないよう気を付けています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1	コミュニケーションが苦手な利用者さんには集団活動をお進めしています。	コミュトレ参加の場合を考慮し作成しています。また、利用時間が一緒になった場合に粗大運動を一緒に行うためそのことも含め計画書を作成しています。。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		シフトの関係で職員のすれ違いが生じる場合がありますが会話・メモ・ホワイトボード等に記入をしながら共有しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2		打合せをする時間を取ることが難しい時は口頭・メモ・必ず目を通すホワイトボードに記入しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		毎回療育記録を記入して振り返り、次回の療育へとつなぐことができるよう進めています。具体的な検証や改善点に全てが結びついているかはこれからも課題の一つです。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			療育中に保護者さんとお話等しながら気になる点や最近のお子さんの様子をお聞きしています。
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児発管、現場に詳しい指導員計２名が担当者会議に参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			不定期ではありますが訪問して情報共有しています。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4		医ケア児が来所した際は保護者様から器具の使い方やお家での様子をお伺いしています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			保護者さんからの要望に出来る限り寄り添うことができるようお子様が通っている園に足を運んで情報共有をしています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		学校側により難しいこともありますが情報共有できる時は行っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			随時情報共有をしています。相談支援事業所の方や相談支援専門員の方と電話連絡等をしています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		ご要望があれば通っている園に足を運び情報共有していますが、活動の場は今のところありません。

	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			毎回レッスン終了後フィードバックを行う中で情報共有をしています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	4		機会を設けることはできませんでしたが検討しています。具体的な実施日は未定です。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		契約時にご説明し、不明な点をお聞きしてお答えしています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			計画書作成や相談支援事業所さんからの資料、保護者さんの要望等に基づき計画書を作成しています。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			ご利用時に保護者様にお声掛けさせていただき最近の様子等をお聞きしています。

	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		現在具体案はなく、検討していきたいと思います。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			療育や職員の対応面でこちらから保護者さんにお気付きの点を聞き、改善へとつなげるようにしています。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2		SNSや教室内の掲示（コミュトレの参加写真等）を発信しています。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	5			鍵のついた棚に保管し職員が退社する際は必ず施錠しています。
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		地域の方々との交流はなくパンフレット配布のみです。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			契約時にご説明させていただき、分からないこと等がある場合はお答えしています。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年に２回は実施しています。コミュトレに避難訓練を交えて活動をしたこともあります。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			保護者さんからの資料（フェイスシート）により把握しています。また、予防接種を受けた時は随時お知らせいただいております。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		食事提供していませんので対象外です。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		ヒヤリハットを職員間で共有していますが、事例集は作成していませんでしたので早急に作成したいと思います。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			職員間で研修資料等を確認する機会を設けています。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			契約時にご説明させていただき確認をしていただいております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。